

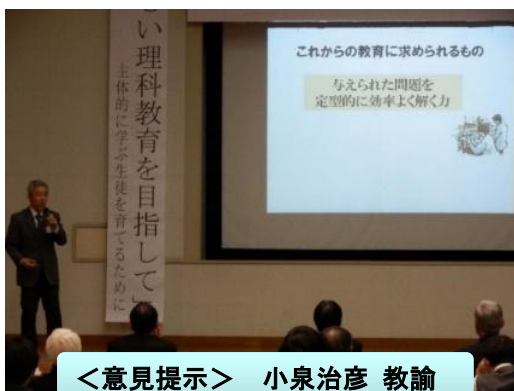
# 第46回関東理科教育研究発表会 千葉大会

大会主題「新しい理科教育を目指して  
—主体的に学ぶ生徒を育てるために—」

11月18日(金)、千葉県総合教育センターを会場に、  
第46回関東理科教育研究発表会千葉大会が開催されました。山梨県を含めた関東7県の高校理科担当教員  
約150人が集まって研究協議を行いました。



開会式 来賓祝辞 内藤敏也 教育長



<意見提示> 小泉治彦 教諭



<意見提示> 吉田絢香 教諭

全体会では、千葉県立木更津高等学校の小泉治彦教諭から「なぜ今、課題研究なのか」というテーマで課題研究指導のポイント、文系における課題研究、普通授業での探究活動等について意見提示がありました。また、埼玉県立浦和第一女子高等学校勤務・千葉県立松戸国際高等学校所属の吉田絢香教諭からは「生物教育におけるアクティブラーニングの試行的な取り組み」について、ICT機器を利用した英語論文や動画の活用、様々なまとめプレゼンテーションの実践例を盛り込んだ意見提示がありました。多くの先生方の興味をひく内容であったため、終了後も引き続き活発な意見交換が行われていました。



<分科会> 研究発表の様子

午後は、物理・化学・生物・地学の各分科会において、各県の教員30名から、指導方法や授業の工夫、実験器具の開発、改善点等について発表があり、熱心な協議が行われました。全日程にわたり、理科をとおして主体的に学ぶ生徒を育てるための様々な工夫について参加した先生方と共有することができ、明日からの授業に役立つ有意義な内容の大会となりました。

この件についてのお問い合わせ 理科部会事務局 (千葉県立幕張総合高等学校内) TEL 043-272-7711 FAX 043-274-8251